

戦争社会学研究会 2022年度 第2回例会

新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、オンラインでの研究大会や例会の開催が広がった一方で、大学院生などの新進の研究者と中堅・ベテラン研究者の交流の機会が激減しました。そこで本会では、院生・ポスドクなどを中心とした報告会を企画し、報告を募集したところ多くの応募がありました。そこで、第一回（10月15日@神戸学院大学）に続き、第二回の例会でも修論・博論研究報告を企画しました。

加えて、談話会「戦争社会学研究会の今後のために」と「現代的課題と戦争社会学研究 ―ウクライナ・基地問題など」を開催し、参加者が交流・意見交換する機会としたいと思います。

- ・ 日時：2022年12月17日（土）10:00-17:30（昼休みは長めの13:00-15:00とし交流の機会とします）
- ・ 会場：東京女子大学（教室は人数がほぼ確定した段階でお知らせいたします）ただしオンライン参加も可。
- ・ 参加方法：12月15日までに以下のページからチケットをご購入してください。会員の方は無料チケットを入手して下さい。
- ・ <https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02x7j1c6e3q21.html>
- ・ 対面で参加する方は上のリンクからチケットを入手して当日会場で提示してください。オンラインで参加する方は、12月16日にお送りするIDとパスワードにてZOOMで参加してください。
- ・ 参加費： 会員は無料。非会員は学生・院生が500円、それ以外の非会員は1000円。

会員で2022年度年会費を未納の方は、以下の口座に振り込んでください。

【会費】

有職者（専任教員およびこれに準じる者） 5,000円

その他の者（非常勤講師・大学院生・学部生およびこれに準じる者） 2,500円

【年会費振込先口座】

ゆうちょ銀行、名義（センソウシャカイガクケンキュウカイ）

店名（五一八）、店番（518）、貯金種目（普通貯金）、口座番号（0035572）

記号（15190）、番号（355721）

プログラム

10:00-10:05	開会挨拶		
第1部			司会：松田ヒロ子
	報告者	論題	討論者
10:05-11:00	後藤杏	1980年代における戦友会の政治化・右傾化 ―全国憲友会連合会の動向から―	清水亮（日本学術振興会 PD・早稲田大学）
11:05-12:00	児玉谷レミ（一橋大学博士課程）	市民社会は自衛隊にいかなる役割を期待してきたのか ―1950年代から1960年代を中心に―	井上義和（帝京大学）
12:05-13:00	中立悠紀（日本学術振興会 PD・明治大学）	拙著『東京裁判・BC級戦犯裁判と帝国陸海軍軍人 ―裁判対策、戦犯釈放運動、靖国戦犯合祀、歴史修正主義』の構想について	野上元（早稲田大学）
昼休みと個別の交流会			
第2部			司会：長島怜央・柳原伸洋
15:00-16:00	談話会	戦争社会学研究会の今後のために ―研究紹介と研究会で扱ってほしいこと等	
16:00-17:30	談話会	現代的課題と戦争社会学研究 ―ウクライナ・基地問題など	話題提供者 井上義和、松田ヒロ子、柳原伸洋など
閉会挨拶			